

小鷹井堰らせん水車導入実証事業の補助採択について

平成 24 年 10 月 19 日
薩 摩 川 内 市

ポイント

- 本市と日本工営株式会社で共同申請していた「小鷹井堰地点らせん水車導入実証事業」が、平成 24 年 9 月 26 日付けで国の補助金に採択された。
- 今回の実証事業で導入予定のらせん水車（30kW）は、10kWを超えるらせん水車としては、国内第 1 号となる見込み。
- 後日、本市と日本工営株式会社において、基本協定を締結する予定。

経済産業省の補助金である「平成 24 年度小水力発電導入促進モデル事業費補助金」に、本市と日本工営株式会社で共同申請していた標記事業が採択され、平成 24 年 9 月 26 日付けで補助金交付決定の通知があった。

現在、らせん水車については、国内では 10kW 超の導入事例はなく、10kW を超えるらせん水車としては、今回の実証事業で導入予定のらせん水車（30kW）が、国内第 1 号となる見込み。

今回の補助採択を受け、後日、本市と日本工営株式会社において、事業実施に関する基本協定を締結する予定。

事業概要は、下記のとおり。

記

- 1 事業名 薩摩川内市小鷹井堰地点らせん水車導入実証事業
- 2 設置場所 薩摩川内市東郷町藤川地内（別添参照）
- 3 総事業費 約 9,000 万円
- 4 事業内容 水力発電開発で困難な低落差での開発を促進するため、国内で実績の少ないらせん水車（30kW）の導入を行い、効率性の向上やメンテナンス等の課題抽出とその対策に取り組む。
- 5 実施期間 交付決定日（平成 24 年 9 月 26 日）～平成 28 年 2 月末

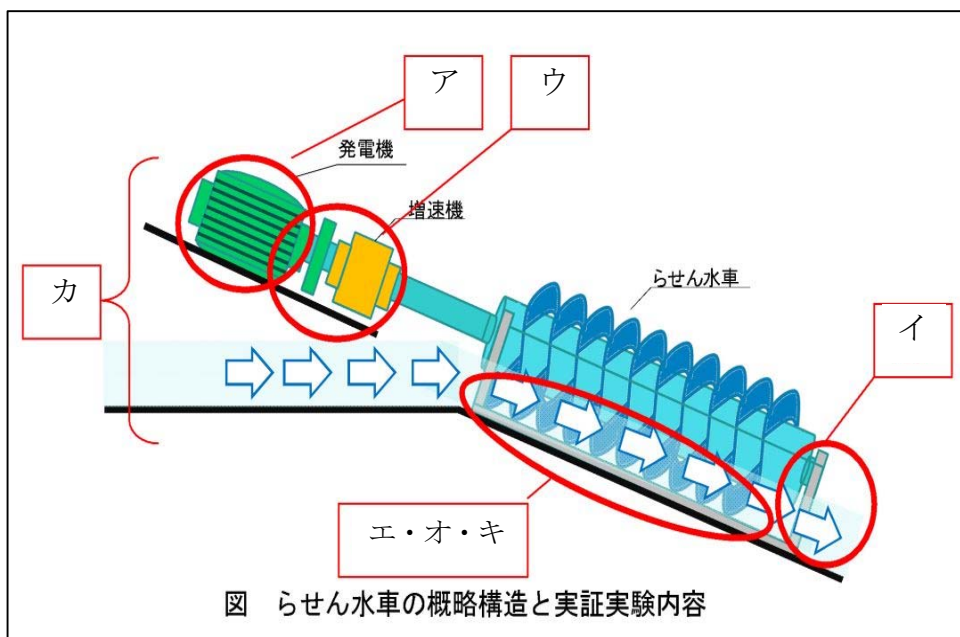
6 スケジュール（予定）

項目	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
流量測定	1年間			
許可申請手続き				
詳細設計				
建設工事	(機器製造→	基礎・機器設置)		
実証実験			1年間	

7 実証実験の内容

これまで導入が困難となっている低流量、かつ低落差地点での環境負荷がなく、低コストの水車・発電機の導入のために、以下の実証実験を行う。

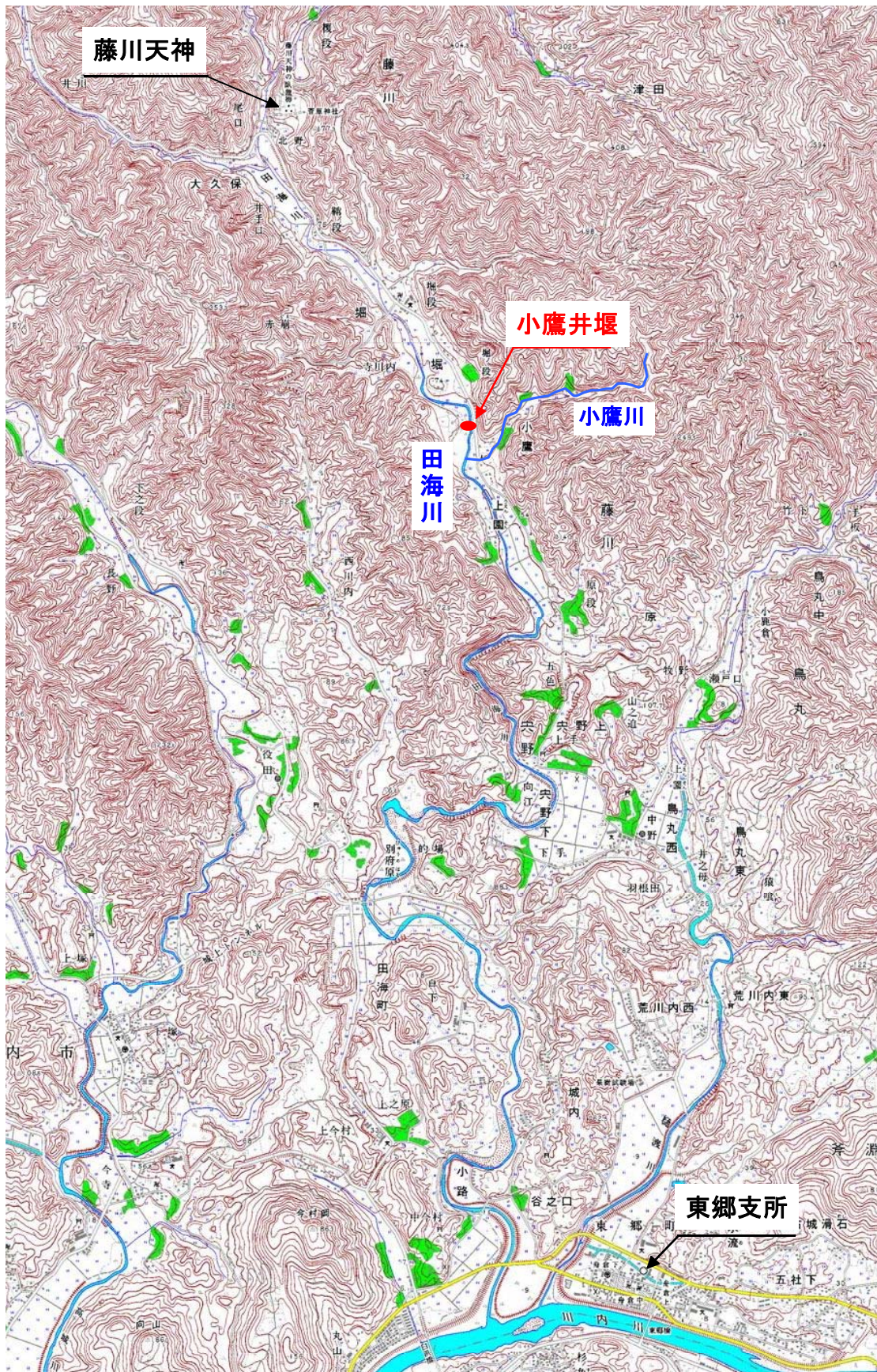
- ① 可変速制御方式による高効率化（ア）
- ② 水中軸受のオイルレス化の開発（イ）
- ③ 水車と発電機の間設置する増速機の切り離し装置を開発（ウ）
- ④ 除塵機や沈砂池の省略化検討、魚類への影響試験（エ・オ・キ）
- ⑤ 騒音対策の省コスト化検討（カ）



8 発電電力量 約 140,000 kWh/年（見込み）

（※ 一般家庭の約 40 世帯分を賄う計算）

- 発電した電気は、隣接する市の施設である「清流館」（物産館施設）で利用し、余剰分は売電予定です。



小鷹井堰位置図

小水力発電導入促進モデル事業 7. 0億円（新規）

資源エネルギー庁
新エネルギー対策課
03-3501-4031

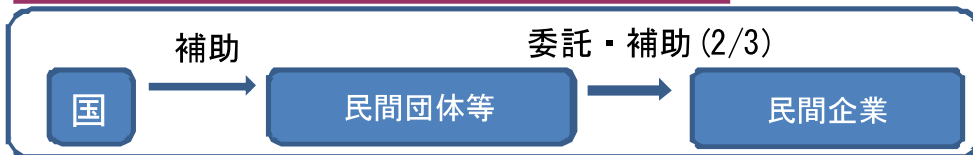
事業の内容

事業の概要・目的

- 再生可能エネルギーの一つである小水力発電は、既存の水路や上下水道設備を活用する等、大きなポテンシャルがあるとされています。
- しかし、開発地点の奥地化、開発規模の小規模化により、コストが高くなり、開発ポテンシャルに比べて導入が十分に進んでいません。課題である「高コスト」を解決するためには、安価な小型の水力発電設備の開発が必要です。
- そのため、小水力発電設備メーカーと発電事業者等が共同で、試験設備を用いた実用化に向けた実証事業を行います。
- 本事業を通じて各メーカーの設備開発を促進し、発電設備の低コスト化、ひいては小水力発電の低コスト化を実現することを目指します。
- また、更なる自治体や民間企業等の参入を促進するため、事業参入に際して必要な手続きや課題等の整理のための調査を実施するとともに、本調査やモデル事業の成果等を発信するためのセミナーを開催します。

補助率 2 / 3

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

注意：買取制度との併用不可

設置場所



水路、上・下水道設備等

事業主体

- 小水力発電設備メーカー
- 発電事業者
- 自治体 等



事業イメージ

各事業主体が共同で、試験設備を用いて実証事業を実施。



上記事業により小水力発電の「低コスト」化を実現。



**小水力発電の導入促進、
再生可能エネルギーの拡大**